



# 緑萌ゆ

新宮小・中学校長だより 2021.6.22

## 水泳開始

6月17日より、子どもたちが楽しみにしていた水泳の授業が始まりました。昨年は、新型コロナウイルス感染症のため水泳授業ができませんでしたので二倍の喜びです。嬉しそうな声が、プールで響いていて、やはりいいものだと感じました。今年は、文科省の示した指針を参考にしながら、感染リスクを極力排した形で水泳授業を実施します。着替えは、体育館の更衣室などを利用しながら場所を分散したり、時間差をつけたりして密を避けています。泳法の練習も、密を避けるための工夫をしながら行っています。また、通常ならバディシステムで実際に手を握り合っただバディ（あらかじめ決められた相棒）の無事を確認しますが、今年は声だけで行うようになります。そのため、安全にはいつも以上に配慮し、気を使いながらの実施となります。すでにお伝えしておりますように、密を避けての練習が不可能なことなどから四国中央市では水泳特別練習は行わず、授業中の記録測定と、それを参考に標準記録突破の可能性のある選手だけの記録会を1学期中に実施することとなっております。また、夏休みのプール開放は、十分な感染症対策の確保維持が難しいことから市内では行われません。楽しみにしている子どもたちのことを思うと残念ですが、ご理解いただけますようお願いいたします。

### 【プール掃除】

水泳授業に先立って、5、6年生と中学生でプール掃除を行ったのですが、その働きぶりが大変見事でした。小学生はプールの中を担当しました。2年分の汚れがあったわけですが、最初から最後まで主体的に動き、多くはない人数で大変きれいに掃除してくれました。最後までよく頑張ったと思います。中学生は、プールの外回りを行いました。溝には2年分の土砂や落ち葉が積もり、更衣室や足洗い場、シャワースペースは2年分の汚れが付いていて大変でした。プールの中の掃除に比べて地味な作業でしたが、黙々と取り組んでいて大変見事な姿でした。小学生の立派なお手本としての振る舞いで、大変感心しました。日頃の清掃も、小学生も含めて無言で一生懸命取り組んでいて、本校の自慢の一つです。校長室で話をしていたお客様が、掃除をしているとは気づかずに、部屋を出てびっくりされる事がこれまでに何度かありました。この良き伝統がこれからも受け継がれていって欲しいと思っています。

